

wakaba

通信

わかば

〔表紙写真〕

あつとほ一むイースト

「いつまでも元気でいきましょうね」

お互いの健康を祈って。



フォトアルバム



あっとほーむウエスト

「満面の笑みを収穫」

ウエストファームで沢山収穫できました。



あっとほーむコモド

「ティーパーティ」

アフタヌーンティでおもてなし。



養護老人ホーム

あっとほーむ若葉

「永遠の淑女」

89歳のお祝いの一枚。



ヘルパーステーション

あっとほーむ若葉

「ゆっくりたたまみましょう」
利用者さまのペースを大切に。



あっとほーむレガール

「仲良し」

いつも笑いに包まれています。



特別養護老人ホーム

あっとほーむ若葉

「白熱の卓球バレー」

パラスポーツに挑戦！

特定行為研修認定看護師とのチームワーク

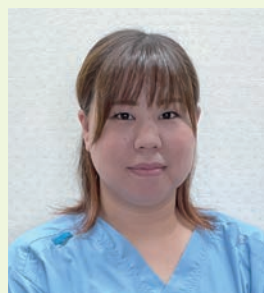
特別養護老人ホームあつとほーむ若葉

今年度より、看護師1名が特定行為研修の創傷管理区分で研修を修了し、「特定看護師」として活動しています。

「特定看護師」とは、平成27年にスタートした「特定行為に係る看護師の研修制度」を修了した看護師のことで、この制度により、医師によりあらかじめ包括的な指示を受け、手順書に基づいて「特定行為」を実施でき、医師の指示を待たずに特定看護師自身の判断でタイムリーなケアを提供できるようになりました。

「特定行為」とは、「診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる」21区分38行為のことをいいます。

当施設の看護師は、そのうち創傷管理関連の研修（2行為）を修了しました。（創傷：一般的に「傷」と呼ばれるものの総称。褥瘡（じよくそう）といわれる床ずれなどもこれに分類されます。）



特定看護師として活躍する河田看護師

Q. 創傷管理関連の研修修了で何ができるようになるの？

- ・壊死組織の除去 褥瘡や治りにくい創に対し、治癒を早めるために血流のない組織を専用器具で取り除きます。
- ・陰圧閉鎖療法 専用の保護剤で創を覆い、陰圧にして治癒を早める治療法です。

Q. 創傷があったら、すぐに実施するの？

事前にご本人やご家族にご説明し同意を頂きます。また、医師の手順書がなければ行えません。特定行為を行った後は、医師に実施内容を報告します。

Q. 褥瘡などの処置を行う際、当施設の特定行為看護師はどこに着目しているの？

褥瘡の経過観察で、施設内で経過をみてよいものか、受診は必要なのか、悪化傾向はないか、除去できる壊死組織がないか注意して処置しています。また、看護師間で処置が統一できるように資料提示しています。

利用者さんにとって1番大切なのは、褥瘡のもととなる「創をつくらないこと」です。初めは小さな創でも様々な要因が重なり、大きくなったり壊死してしまうことがあります。そういった場合に施設内で特定行為を実施することで、待ち時間が長い受診や入院を回避し、環境を変えることなく治療することも可能になります。また、介護職はそしてお手伝いが出来ればと思いケアをしています。

Q. 創傷を作らないために介護職が行っていることは何？

主となるのが、体圧分散です。寝返りがうてない方に3時間ごとに体位変換を行っています。使用しているマットレスによって差異はありますが、一般的には4時間を超えない範囲で適切に体位変換を行うことで褥瘡予防につながります。そのほかに食事摂取量や皮膚状態の観察なども創傷予防に繋がっています。例えば食べる量が減れば栄養が足りなくなり、皮膚状態に関しても、乾燥していると少しの摩擦で創傷ができてしまい、過度に湿潤すればかぶれてしまいます。そうならないよう他職種が連携してケアを行っています。

最後に、私たちは利用者さんが日々生活していく中で、より良い環境づくりを心がけています。今回は特定行為研修の紹介をしましたが、このほかにも多職種が様々な視点を持って情報を共有し早期対応に努めていくことで、より細やかに対応でき、過ごしやすい環境の提供に取り組んでいます。



高齢者は皮膚が大変弱く、職員が連携し早期対応に努めています。

季節を感じる楽しさを

養護老人ホーム

あつとほーむ若葉

コロナ禍が長く続き、外出機会が減ったこのご時世のため、利用者さんにリフレッシュ頂けるように楽しみ作りに力を入れています。

取り入れてほしいレクリエーションを利用者さんにアンケート調査し、ご希望の多かった催しを月に一度開催しています。

5月に風船バレー大会、6月に運動会、7月に夏祭りを開催しました。



日頃はお部屋で過ごすことが多い利用者さんの活動的な一面が垣間見え、「楽しかった」、「またやりたいね」と毎月皆さんから嬉しい声を聞かせて頂いています。

今後とも感染対策に留意しながらも、心身ともに充実でき、利用者さん同士が楽しい時間を共有できるように催しをスタッフ一同で企画していきたいと思っています。



嬉しい再会

あつとほーむイースト

コロナウイルスの影響でなかなか通常の生活に戻ることが難しい状況の中、オンラインを取り入れた地域交流に取り組んでいます。

同時に、デイサービスと特別養護老人ホームを繋いだオンライン面会をしています。

感染拡大時に利用者さんから「直接会いに行けず、妻の姿を見て話すことが出来なくなつた。」と声が聞かれた為、あつとほーむイーストを利用していらっしゃるご主人とあつとほーむ若葉に入居し

ている奥様とのオンライン面会を実施しました。

画面越しではありませんでしたが、久しぶりの再会ということもあり、表情もにっこり♡生き生きと話されていました。

終わった後は、少し涙ぐまれる場面もありましたが、普段見られないような嬉しい表情で、「久しぶりに顔がみれたわぁ〜」と、他の利用者さんや職員に話をして下さいました。ご家族の力は偉大だなと感じています。

今後このような何気ない利用者さんとの会話から、イーストでお手伝いできることを見つけていきたいと思っています。



オンラインで奥様に語り掛けるご主人

野菜と花を地域にお届け

あっとほーむウエスト

利用者さんと一緒に『ウエストファーム』で、四季に合わせた花や野菜を育てています。

デイに通所する利用者さんに生きがいや楽しみを持って頂き、また役割をもって生活して頂けるよう声かけを行ったのが始まりですが、土に触れ合うことで、利用者さんの表情も生き生きしてきました。

収穫した野菜は、あっとほーむコモ



国際医療福祉専門学校の留学生の皆さんに



ドや、イースト、レガールその他、国際医療福祉専門学校の生徒さんにもお届けしました。先着順ですぐに無くなる程好評でした。

また、5月からウエストの隣にある七尾城登山口駐車場のトイレに、ウエストファームで育てた花を利用者さんと一緒に飾らせて頂いています。週2回駐車場を訪れ、利用者さんとお花の手入れをさせて頂いています。

今後は、ウエストファームの花を使った小物などの作品を作り、地域の方に配布できるよう計画中です。



「自分たちでできることで喜んでくれる人がおれば」と参加して下さる方々

生活援助の役割

ヘルパーステーション

あっとほーむ若葉

訪問介護で提供するケアには、「身体介護」と「生活援助」があります。

「生活援助」は、利用者さんが困難な家事を介護保険でヘルパーがお手伝いするサービスです。

掃除、洗濯、調理、買い物等、利用者さんが住み慣れた家やご家族のもとで長く暮らせるよう、必要な支援を計画し訪問しています。

家事すべてを引き受けてしまうのではなく、利用者さんがご自分らしい暮

らしをかなえられるようなサービスを心がけています。

例えば一部だけお手伝いが必要な場合には、利用者さんと一緒に台所に立って見守りをしながら料理をしたり、洗濯をするなどし、単に代行するのではなく、お一人おひとりの長年培ってきた生活習慣や、価値観を尊重した援助に努めています。

訪問に伺う際は、お身体や表情にお変わりないか観察し、ヘルパーが来る時間を心待ちにして下さる利用者さんが楽しい時間になるよう笑顔もお届けしています！



買い物代行の際は、行き違いがないように配慮しています。



利用者さんができることを支援することを目的としています。

竹廃材で園芸を

あつとほーむコモド

あつとほーむコモドの玄関前には、オブジェとしてイタリア製の大きな壺がいくつもあり、建物のデザインの一つとなっています。

開設当初は竹を植えていましたが、月日と共に枯れてしまったため、朝顔を植えるなど工夫をしていました。

そのような中、黒崎町の吉田綾子様のご家族から、「うちは竹材加工をしていて廃材が出るよ。竹のパウダーは土づくりに良いんだよ。」と声をかけて頂き、「利用者さんと壺にお花を植えたいね。」と早速吉田様の会社へ伺いました。竹パウダーとは、粉末化した竹を乳酸発酵させたもので、糖質が豊富で、有機土壌改良剤として微生物に良い環境を作り出すそうです。作物に与える



(有)吉田工業様には
たくさんの竹材が並んでいました。

と糖度が
高くなっ
たり、病
気に耐え
る丈夫な
ものに育
つとされ
ています。

今回は

壺が深い為、土だけでは水の浸透も早いのので粗目のものを譲っていただきました。これにより土壌の保水性もよくなります。

(有)吉田竹材工業様は、吉田様のご主人が昭和42年に創業された竹材の加工販売会社です。現在は、2代目である息子さんが経営され、ますの寿司の器を主に販売しているそうです。

コモドまでトラックで竹材を運んで下さいました。ありがとうございます。

その後、地域の方から頂いた花の苗などを植え、開花を楽しみにしています。お花が咲いたら地域の方にお返し、これからも地域交流を深めていきたいと思っています。



竹パウダーを敷き詰めた
土に利用者さんと植えた花



壺に竹材を入れて下さいました。

認知症の利用者さんとその ご家族への支援の取り組み

あつとほーむレガール

令和4年度は、「認知症の利用者さんやそのご家族への個別支援」に重点を置き、職員のスキルアップに取り組んでいます。

認知症の進行による心身の変化は、利用者さんにとって大きな不安になると思います。症状によって引き起こされる様々な行動には、ご本人には理由があつて行動している場合があります。

ですが、周囲の方々にとっては、どうしてそのような行動に至るのかわからなかったり、時にその行動が連続する場合、対応することはとても大変なことになります。

レガールでは、寄り添った支援ができるよう、認知症について継続して学び、コミュニケーションスキルを中心とした認知症支援について勉強会を実施しています。また、職員によってスキルに差が生じないよう取り組んでいます。

施設では、利用者の方が過ごしやすい環境づくりを行っています。そのほか、ご自宅での介護は、ご家族やご本人としっかり話し合うことで、お互いが無理せず安心して生活できる方法をご提案できるように心がけています。

ご相談を受けた際は私達が出来る方法を皆で考えて共有し、サポートさせて頂きます。職員一同、知識と経験を一歩ずつ積み上げ、真心こめて向き合っていけるように日々研鑽致します。



認知症ケアのポイントについての研修会



ご家庭での過ごし方についてヒアリング

介護と健康のよろず相談室を始めました

このたび、無料の相談室をはじめました。

介護保険サービスは、認知症の容態によってご本人やご家族にあった介護を選ぶことが穏やかな生活を送るカギとなります。

また、介護を受ける方の生活を支えるためには、携わる方が病気、認知症、生活の観点で一緒に考えることが望まれます。

あっとほーむの相談室では、医療と介護の双方の視点から、医師としてのアドバイスを交え、当法人の会長岡田成が相談にお応えします。

6月から始め、これまでクリニックに通って下さっていた元患者さんなど、多くの方が相談にお越し下さっています。

ご自分やご家族の介護、健康について、現在介護をしている方、していない方、どなたでもお越しください。

介護と健康のよろず相談室

毎週土曜日 午前10時～12時

第一・第二土曜日 大田町

デイサービスセンター

あっとほーむイースト

第三・第四土曜日 古屋敷町

デイサービスセンター

あっとほーむウエスト



制服でワクチン寄付

今年、あっとほーむは、制服のモデルチェンジを行い、おしゃれでありながら、仕事着として各職種が働きやすい制服となりました。

リニューアルで不要になった旧制服は、およそ900枚。廃棄で済ませず、資源として地球や社会に還元したいと、「古着でワクチン」という自立支援型・寄付付きシステムを活用しました。

袋が入った専用キットを購入し、リユース会社に送ることで、次の社会貢献ができる商品です。

- ・ラオスやバヌアツなど世界の子どもたちにポリオワクチンを寄付。(1袋につき5人にワクチンが届く)

- ・回収キットの製造は国内外の福祉作業所が行い、障がいがある方の仕事に繋がる。

- ・販売・選別・再輸出するカンボジア拠点では、ポリオによる障がいのある方や、かつてゴミ山で暮らしていた若者が中心となって働いており、雇用や自立支援に繋がる。

今回30kg相当の回収袋13袋を送りました。これにより65人の子供にワクチンが届く事になります。

自分が着用していた服で、遠く離れた国の雇用や小さなお子さん達の健康に繋がることに驚き、喜んでいきます。

ポリオとは

ポリオ(急性灰白髄炎)は脊髄性小児麻痺とも呼ばれ、ポリオウイルスによって発生する疾病です。名前のとおり子ども(特に5歳以下)がかかることが多く、麻痺などを起こすことのあ病気です。

(厚生労働省HP参照)



ご寄付頂きありがとうございます

福祉の向上に心温まるご芳志をありがとうございます

鮎谷 節子 様
中谷 健彦 様
林田 みつゐ 様

令和4年1月～令和4年7月末まで

利用者さんの為になるように使用させていただきます。皆様の温かい善意に感謝申し上げます。

ボランティアの受け入れについて

新型コロナウイルス感染予防のため、利用者様の健康と安全を最優先に考慮した対策を続けております。

現在、地域の方との交流や、ボランティアの皆様の施設内への来訪を休止させて頂いています。

貴重なご意見をありがとうございます

《ご家族より》

本人がショートステイより帰宅後、「職員から家族は旅行にでかけて不在だと聞いた。」と怒っていた。そのような言葉や言い方はしないでほしい、とご家族より連絡があった。

《改善結果》

職員に事実確認を行ったところ、話はしておりませんでした。今後気を付けて対応をすることをご家族に説明をさせていただきました。職員に周知いたしました。

《ご家族より》

帰宅後すぐに、ズボンまで汚染していた。施設にいた時に気づかなかったのですか、とご家族より連絡があった。

《改善結果》

ご家族及び利用者さんに不快な思いをさせてしまったことについてお詫びし、職員に周知いたしました。

令和3年12月～令和4年7月末まで

編集後記

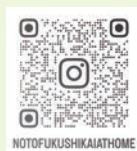
あっとほーむでは、コロナ禍においても地域に開いた施設を目指し、幅広く皆様に施設の取り組みを発信するため、インスタグラムを開設しました！

各事業所の日々の出来事や、取り組みを投稿しています。

アカウントをお持ちの方は、ぜひ、フォローをお願いします。



フェイスブック
QRコード



インスタグラム
QRコード

作成・編集 広報委員会

小山 真季 今田 京子
瀬戸 美咲 龍 悟
山腰喜代美 柳下 奈緒
受川 佳奈 田中 優子
西川 智佳

介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8702 FAX.0767-53-8716

短期入所生活介護 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

居宅介護支援事業所 あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8703 FAX.0767-53-8718

訪問介護 ヘルパーステーション あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8704 FAX.0767-53-8718

七尾市在宅介護支援センター あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8713 FAX.0767-53-8717

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむイースト
TEL.0767-53-6690 FAX.0767-53-6691

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむウエスト
TEL.0767-54-0477 FAX.0767-54-0551

小規模多機能型居宅介護施設 あっとほーむコモド
TEL.0767-59-1290 FAX.0767-59-1291

小規模多機能型居宅介護施設 サービス付き高齢者向け住宅 あっとほーむレガール
TEL.0767-53-0071 FAX.0767-53-0072